



2013年7月11日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

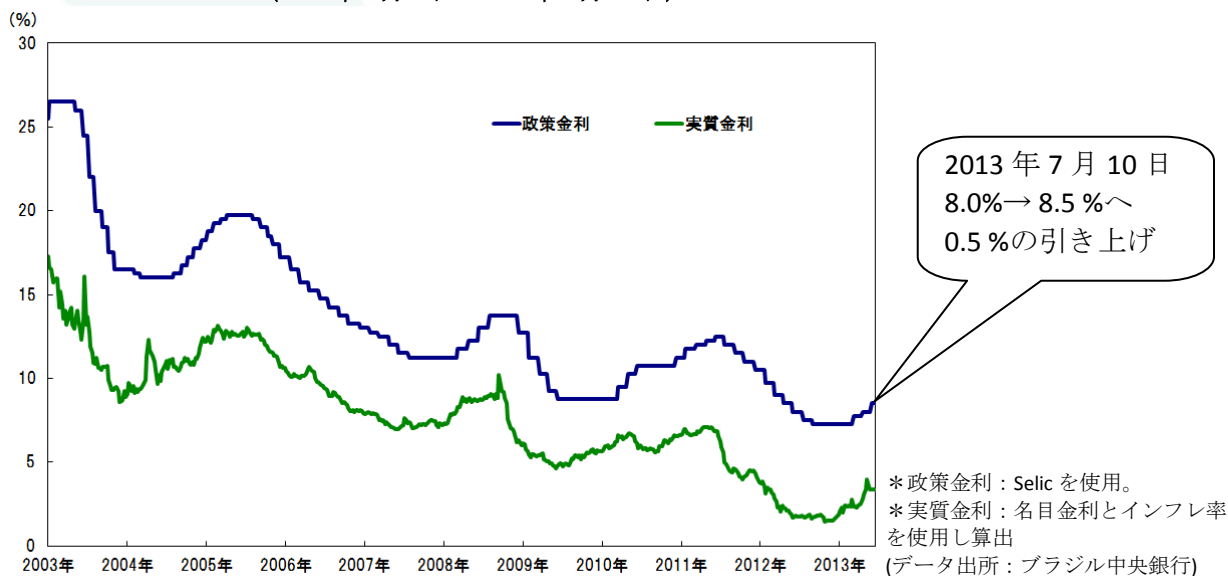
ブラジルの政策金利の引き上げについて

ブラジル中央銀行は、現地 2013 年 7 月 10 日の COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）の 0.5% 引き上げを決定しました。これによりブラジルの政策金利は年率 8.5% となりました。ブラジルの利上げは本年 4 月、5 月について本年 3 回目です。

ブラジル中央銀行のトンビニ総裁は、前回 5 月の利上げ決定後もインフレ抑制を目指す姿勢を強調しており、今回の COPOM における利上げは市場では広く予想されていました。また、COPOM では全会一致で決定されたとの報道がされております。

今回の利上げ決定はブラジル債券・株式市場の引け後に行われております。なお、11 日早朝の東京時間の為替市場では、ブラジル・レアルは対円及び対ドルで若干軟調となっておりますが、利上げが予想通りだったことで比較的落ち着いた推移を見せています。

＜ブラジル政策金利と実質金利の推移＞
(2003年2月1日～2013年7月10日)



本資料は、BNP パリバアセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解等を提供することを目的として、上記の時点に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。